

【 参 考 2 】
令和 7 年 2 月 1 2 日
総務企画常任委員協議会
企画部 企画調整課

令和6年度

青森市第三セクター経営評価シート

法人名称	公益財団法人青森学術文化振興財団
------	------------------

市所管部課	企画部 企画調整課
-------	-----------

令和6年度 青森市第三セクター経営評価シート

評価区分	法人名、市所管部（課）名	評価者の役職・氏名
第一次評価	公益財団法人青森学術文化振興財団	理事長 倉橋 純造
第二次評価	企画部（企画調整課）	企画部長 金谷 浩光

I 経営評価表

◎基本的視点1：公共性・公益性の視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	目的適合性（設立目的の検証、事業主体の妥当性、事業の必要性、市施策への貢献度）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	大学等が実施する教育・研究活動への支援により、地域における学術・文化の発展に寄与しており、公益性が高い事業を実施する当財団の役割は重要である。	助成事業等の実施により、地域の教育・研究活動の振興が図られ、学術・文化の発展に寄与している。
今後の 取組方針	引き続き、地域の学術・文化の発展に向け、地域の発展に貢献する助成事業等を実施していく。	教育・研究活動の振興による地域の学術・文化の発展に向けた事業実施を働きかける。

◎基本的視点2：効果的・効率的な事業の視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	効率性・効果性（事業実施手法等の見直し、経費の見直し）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	助成事業の決定に当たっては、事業内容や事業費等を外部の有識者等により審査し決定しており、効果的かつ効率的に事業を実施している。 また、管理費及び人件費を適正に執行しており、管理費率及び人件費比率は低い数字を維持している。契約は、財団会計規程に基づき2社以上の見積を徴する等事業コストの削減を行っている。	大学等への助成について、外部有識者の意見を伺いながら決定するなど、効率性・効果性が高い事業実施に取り組んでいる。 また、管理費及び人件費を適正に執行し、事業コストの削減へも取り組んでいる。
今後の 取組方針	現在の取組を継続しながら、より効果的な事業の実施に向けた取組を検討する。	効果的・効率的な事業実施に向けた検討を働きかける。

令和6年度 青森市第三セクター経営評価シート

◎基本的視点3：独立した経営体としての視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	組織運営の健全性（経営マネジメントの検証、個人情報の保護、再委託の見直し）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	法人の意思決定については、理事会の決議によって行うほか、内部監査に関する要領に基づき、毎月の会計処理を確認するなど、組織運営の健全性に努めている。 また、個人情報保護に関する方針や規程を整備・公開し、個人情報保護に取り組んでいる。	定款に基づく理事会の開催、各規程等に基づく内部監査等が行われ、組織運営の健全性が図られている。
今後の 取組方針	引き続き、内部監査等による組織の健全経営に取り組むとともに、個人情報の保護にも努めていく。	健全な組織運営の継続が図られるよう働きかける。

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	財務の健全性（財務環境、資産運用の適正性、財務諸表の適正性）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	正味財産比率や流動比率が高い実績値を維持している。また、財務諸表については、公益法人会計基準に則り適正に処理しており、財務の健全性を高めている。	財務諸表の適正処理等により、財務環境の健全性が確保されている。
今後の 取組方針	引き続き、公益法人会計基準及び法人会計規程等に基づいた適正な会計処理や資産運用管理規程に基づいた資産運用を継続し、健全な財務環境の維持に努めていく。	適正な会計処理や安定的な資産運用に努め、財務環境の健全性を維持するよう働きかける。

令和6年度 青森市第三セクター経営評価シート

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	透明性（情報公開に関する取組）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	ホームページにおいて、事業報告や決算報告等のほか、定款をはじめとする諸規程についても公開している。 また、情報公開規程を整備・運用している。	事業報告や決算報告等のほか、情報公開規程等の各種規程をホームページで公開している。
今後の 取組方針	引き続き、ホームページによる情報公開に努めていく。	ホームページ等の活用により透明性を維持するよう働きかける。

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	自立性（経営に対する市の関与）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	職員（嘱託職員を除く）については、市から派遣されているが、事業費については、市の関与はなく資産運用により確保している。	市から事務局に職員（嘱託職員を除く）を派遣しているが、市からの補助や委託を受けずに事業運営を行っている。
今後の 取組方針	引き続き、資産運用管理規程に基づいた資産運用により事業費の確保に努める。	安定的な資金確保により、自立した運営が継続できるよう働きかける。

Ⅱ 法人の今後のあり方に関する取組状況

〔「青森市第三セクターに関する基本方針（平成22年10月）」に掲げた取組予定及び「青森市第三セクターの経営評価指針」（令和2年4月改訂）に記載している「経営戦略プラン」の策定等〕

作 業 事 項	実施主体	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度 以降
中期経営計画の実施	法人	●	—	—	▶				
経営戦略プランの策定	法人			●	▶		●	▶	
経営戦略プランの実施	法人				●	—	—	▶	●
財務環境の注視	法人・市	財務環境の注視							

〔取組実績・進捗評価〕

主体	取 組 実 績（取 組 内 容）	進捗評価							
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
法人	中期経営計画の実施	◎	◎	◎					
	経営戦略プランの策定			◎			◎		
	経営戦略プランの実施				◎	◎	◎	◎	◎
	財務環境の注視	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
市	財務環境の注視	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

【進捗評価凡例】

- ◎：予定どおり実施し終了した
- ：実施中（着手済み）ではあるが、概ね予定どおりに進んでいる
- △：実施中（着手済み）ではあるが、予定についての取組みがあまりできていない
- ×：取組んでいない（未実施・未着手）

〔進捗評価が「△」「×」の場合〕

法人コメント	市所管部コメント

Ⅲ 付属資料（経営評価に当たっての点検項目）

① 点検結果〔総括〕

経営評価に当たっての 基本的視点	評価項目	点検 項目数	第一次点検結果 (法人点検)	第二次点検結果 (市所管部点検)
1 公共性・公益性の視点	目的適合性	4	◎ : 4 個 ○ : 0 個 × : 0 個	◎ : 4 個 ○ : 0 個 × : 0 個
2 効果的・効率的な事業の視点	効率性・効果性	6	◎ : 5 個 ○ : 1 個 × : 0 個	◎ : 5 個 ○ : 1 個 × : 0 個
3 独立した経営体としての視点	組織運営の健全性	17	◎ : 14 個 ○ : 3 個 × : 0 個	◎ : 14 個 ○ : 3 個 × : 0 個
	財務の健全性	10	◎ : 8 個 ○ : 0 個 × : 0 個	◎ : 8 個 ○ : 0 個 × : 0 個
	透明性	5	◎ : 5 個 ○ : 0 個 × : 0 個	◎ : 5 個 ○ : 0 個 × : 0 個
	自立性	7	◎ : 7 個 ○ : 0 個 × : 0 個	◎ : 7 個 ○ : 0 個 × : 0 個
合 計		49	◎ : 43 個 ○ : 4 個 × : 0 個	◎ : 43 個 ○ : 4 個 × : 0 個

点検結果の凡例

- ◎ : 妥当である、良好である、対応している、取り組んでいる など
 ○ : 概ね妥当である、概ね良好である、改善の余地がある、一定程度取り組んでいる など
 × : 改善を要する、非常に悪い、不十分であり改善を要する、取り組んでいない など

② 点検表

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果						
		第一次 点検		第二次 点検				
		前年	今年	前年	今年			
評価項目	(1) 目的適合性							
(ア) 設立目的の検証								
① 設立目的（公益目的・役割）は、現在の社会経済状況に合致しているか（希薄化していないか）	※「×」の場合はその理由を記載							
					◎	◎	◎	◎
◎：すべて合致している（希薄化していない） ×：一部合致していない部分がある（一部希薄化した）								
(イ) 事業主体の妥当性								
② 法人の実施する公益的事業が他の団体（NPO、民間事業者、他第三セクターなど）と競合していないか	※選択理由を記載							
	青森県内における学術・文化の発展に資することを目的に大学の研究者等に助成することに特化しており、他の団体等が実施する助成事業とは差別化できる。				◎	◎	◎	◎
◎：競合していない、または競合しているが、合理的理由により差別化できる ○：合理的理由はないが、代替は困難である ×：競合しており、代替は比較的容易である								
(ウ) 事業の必要性								
③ 法人の実施している公益的事業に対する市民ニーズは低下していないか	主な点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度				
	申請大学数	10	11	11				
					◎	◎	◎	◎
◎：市民ニーズは非常に高い ○：市民ニーズは概ね高い ×：市民ニーズは低下している、または市民ニーズを把握していない								
(エ) 市施策への貢献度								
④ 第三セクターとして積極的に公益的事業の展開に取り組んでいるか	※主な取組内容等を記載							
	・地域の発展を図るための経済・社会・文化の領域における学術研究（論文募集） ・地域における学術・文化の振興に係る事業に対する助成 ・青森公立大学の国際交流を中心とした教育活動に対する助成				◎	◎	◎	◎
◎：十分（市の期待以上）取り組んでいる ○：概ね（市の期待どおり）取り組んでいる ×：取り組みが不十分である								

目的適合性 点検結果計（点検項目数：4項目）	◎	4	4	4	4
	○	0	0	0	0
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等					点検結果			
					第一次 点検		第二次 点検	
					前年	今年	前年	今年
評価項目	(2) : 効率性・効果性							
(ア) 効率性の検証								
① 販売・一般管理費比率は適正か【会社法法人】	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度	—	—	—	—
	販売・一般管理費比率 (%)							
	<合理的理由>							
	◎： 横ばい、または低くなっている ○： 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある ×： 上昇傾向にあり、適正でない —： (評価対象外)							
① 管理費比率は適正か【公益法人】	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度	○	◎	○	◎
	管理費比率 (%)	4.8	5.3	3.2				
	<合理的理由>							
	◎： 横ばい、または低くなっている ○： 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある ×： 上昇傾向にあり、適正でない —： (評価対象外)							
② 人件費比率は適正か	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度	◎	◎	◎	◎
	人件費比率 (%)	17.7	17.2	10.4				
	<合理的理由>							
	◎： 横ばい、または低くなっている ○： 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある ×： 上昇傾向にあり、適正でない							
③ 職員1人当たりの収益高	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度	◎	◎	◎	◎
	職員1人当たりの収益高 (千円)	3,428	3,386	3,561				
	<合理的理由>							
	◎： 横ばい、または上昇傾向にある ○： 低下傾向にあるが、合理的な理由がある ×： 低下傾向にあり、適正でない							
(イ) 効果性の検証								
④ 市民ニーズの把握に努めているか	※取組事例等を記載				○	○	○	○
	助成事業の審査において、申請者から意見聴取を実施するなど、ニーズの把握に努めている。							
	◎： あらゆる機会をとらえ、積極的に調査を行い、把握に努めている ○： 十分ではないが、必要に応じ把握に努めている ×： 不十分であり改善を要する							

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次 点検		第二次 点検	
		前年	今年	前年	今年
⑤ 事業毎に定量的な目標数値を設定し、達成状況を評価・分析しているか					
◎： すべての事業に定量的な目標を設定し、評価・分析している		◎	◎	◎	◎
○： 一部の事業のみに定量的な目標を設定し、評価・分析している					
×： ほとんど目標を設定していない、または評価・分析していない					
⑥ 事業遂行の効率性向上のため、毎年度事業内容、事業費及び事務処理上の問題 点の把握や原因分析を行い、改善を図っているか					
◎： 毎年度検証し、積極的に改善・見直しに努めている		◎	◎	◎	◎
○： 毎年度検証していないが、必要に応じて改善・見直しに努めている					
×： ほとんど検証していない					

効率性・効果性 点検結果計（点検項目：6項目）	◎	4	5	4	5
	○	2	1	2	1
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次 点検		第二次 点検	
		前年	今年	前年	今年
評価項目	(3) 組織運営の健全性				
(ア) 経営マネジメントの検証					
① 意思決定機関である理事会（取締役会）を適正に開催しているか		◎	◎	◎	◎
◎： 定期に加え、必要の都度機動的に開催している ○： 定期的な開催のみにとどまっている ×： ほとんど開催していない					
② 役員報酬・退職金に関する規程を整備し、公表しているか		◎	◎	◎	◎
◎： 規程等を整備し、公表している ○： 規程等を整備しているが公表していない ×： 策定（検討）中、または策定予定なし					
③ 経営に関する方針や計画を策定しており（明らかにされており）、全職員に周知しているか		◎	◎	◎	◎
◎： 策定されており、全職員（社員）に周知徹底している ×： 策定されていない、または策定しているが一部の職員しか把握していない					
④ 経営目標数値を設定する際は、組織構成員が責任をもって参画するとともに、目標を達成するために必要な業務遂行上の権限・責任の明確化を図っているか		◎	◎	◎	◎
◎： 規程等により権限・責任とも明確になっている ○： 規程等により権限のみ明確になっている ×： 明確になっていない					
⑤ 外部経営環境（社会経済動向・同業他法人の経営活動など）の変化に留意し、経営目標数値と実績を比較、分析して、その結果に応じて改善策や計画を見直すシステム（PDCAマネジメントサイクル）を確立しているか		○	○	○	○
◎： システムが確立され、かつ十分機能している ○： システムは確立されているが、改善の余地がある ×： システムが確立されていない					
⑥ 内部統制に関する各種規程等（就業規則、職務分掌規程、決裁規程など）が整備され、かつ定期的に見直しているか		◎	◎	◎	◎
◎： 各種規程等が整備され、毎年度検証している ○： 各種規程等を整備しているが、毎年度検証していない ×： 各種規程等が不十分である、またはほとんど見直ししていない					
⑦ 法人内部の不正や不規則を発見し、また未然に防ぐことを目的に、内部監査（当該業務担当者以外の者による相互監査）を定期的の実施しているか		◎	◎	◎	◎
◎： 実施要綱等を整備し、毎年度実施している ○： 実施要綱等は整備していないが、毎年度実施している ×： 実施していない					
⑧ 財務や会計等に関する規則等に則った事務を行っているか また、定期的なチェックを実施しているか		◎	◎	◎	◎
◎： 規則等に則った事務を行っており、定期的なチェックを実施している ○： 規則等に則った事務を行っているが、定期的なチェックは実施していない ×： 規則等に則った事務を行っていない					
⑨ コンプライアンス（法令順守）に関する取組を実施しているか （下記の該当項目を○→■）		○	○	○	○
☐ コンプライアンスに関する内容を規定している ☒ ルールブックやマニュアルを作成し職員に配布する等周知を図っている ☒ 職員に対する啓発等研修の場を設定している ☐ 業務監査体制を強化する体制整備や取組を行っている ☐ その他、コンプライアンス経営を充実するための取組を行っている 					
◎： 3項目以上 ○： 2～1項目 ×： 0項目					

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次点検		第二次点検	
		前年	今年	前年	今年
⑩ 階層別研修、専門研修及び自己啓発研修などの職員の資質向上並びに優秀な人材の確保を図るための研修を計画的に実施しているか	◎： 人材育成計画にもとづき、計画的に研修を実施している ○： 人材育成計画は策定していないが、必要な研修を計画的に実施している ×： 計画的に研修が行われていない、または研修内容が十分とは言えない	○	○	○	○
⑪ 経営状況、事業内容等を勘案した職員給与制度に関する規程を整備し、適正に運用しているか	◎： 法人独自の給与規程を整備し、適正に運用している ○： 市給与体系を一部準用した規程を整備し、適正に運用している ×： 規程がない、または市給与体系を全部準用した規程を整備している	◎	◎	◎	◎
⑫ 職員の能力や実績を適正に評価し処遇や給与などに反映させる人事評価制度・給与制度を導入し、適正に運用しているか	◎： 人事・給与制度を整備し、適正に運用している ○： 整備（検討）中、または各制度はあるが十分機能していない ×： 整備予定なし	○	◎	○	◎
⑬ 業務内容、業務量に応じた組織機構の見直し（課・係の再編成、事務分掌の変更等）に取り組んでいるか	◎： 毎年度検証し、必要に応じて見直しをしている ×： ほとんど見直ししていない	◎	◎	◎	◎
(イ) 個人情報の保護					
⑭ 個人情報の保護に関する規程等を整備し、公表しているか	◎： 規程等を整備し、公表している ○： 規程等を整備しているが公表していない ×： 策定（検討）中、又は策定予定なし	◎	◎	◎	◎
(ウ) 再委託の見直し					
⑮ 受託事業の再委託比率が50%を超えていないか	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度	
	再委託比率（%）	0.0	0.0	0.0	
	<合理的理由>				
	◎： 再委託はない、または再委託比率は50%を超えていない ○： 50%を超えているが、特殊な事情があるなど合理的理由がある ×： 50%を超えており、合理的理由がない	◎	◎	◎	◎
⑯ 受託事業の再委託比率が高まっていないか	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度	
	再委託比率（%）	0.0	0.0	0.0	
	<合理的理由>				
	◎： 再委託はない、再委託比率は低下している、または横ばいである ○： 上昇傾向にあるが、特殊な事情があるなど合理的理由がある ×： 上昇しており、合理的理由がない	◎	◎	◎	◎
⑰ 受託事業の再委託にあたっては、外部委託基準（ルール）等を整備するとともに、コスト低減のために入札方式や契約方法を工夫するよう努めているか	◎： 再委託はない、または基準等を整備し、コスト低減に努めている ○： 基準等は整備していないが、コスト低減に努めている ×： 入札方式や契約方法を見直していない	◎	◎	◎	◎

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次 点検		第二次 点検	
		前年	今年	前年	今年
組織運営の健全性 点検結果計（点検項目：17項目）	◎	13	14	13	14
	○	4	3	4	3
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等					点検結果			
					第一次 点検		第二次 点検	
					前年	今年	前年	今年
評価項目	(4) 財務の健全性							
(ア) 財務環境								
① 当期利益を継続的に確保しているか	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度				
	当期損益 (千円)	▲ 343	▲ 3,328	▲ 4,756				
◎： 十分確保している (当期を含め3年・2年連続黒字) ○： 確保している (当期のみ黒字) ×： 継続的に確保できていない (当期を含め赤字)					—	—	—	—
② 累積欠損金を計上していないか	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度				
	累積損益 (千円)	286,175	282,847	278,092				
◎： 累積欠損金はない ○： 累積欠損金はあるが、減少傾向にある ×： 累積欠損金は横ばい、または増加傾向にある					◎	◎	◎	◎
③ 自己資本 (正味財産) 比率が適正で、かつ低下傾向になっていないか	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度				
	法人設定の適正值 (%)	30.0	30.0	30.0				
	実績値 (%)	99.6	99.8	99.6				
	<適正值の考え方>							
	「第三セクター経営評価実施に係る経営状況基本情報シート及び経営評価シート作成・運用の手引き」 (青森市行政資産経営課) 目安数値を適正值と定める。							
◎： 適正で、かつ低下傾向にはない ○： 適正で、かつ低下傾向にあるが、緩やかである ×： 著しく低い、または近年大幅に低下する傾向にある					◎	◎	◎	◎
④ 流動比率が適正で、かつ低下傾向になっていないか	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度				
	法人設定の適正值 (%)	100.0	100.0	100.0				
	実績値 (%)	270.9	336.0	194.7				
	<適正值の考え方>							
	「第三セクター経営評価実施に係る経営状況基本情報シート及び経営評価シート作成・運用の手引き」 (青森市行政資産経営課) 目安数値を適正值と定める。							
◎： 適正で、かつ低下傾向にはない ○： 適正で、かつ低下傾向にあるが、緩やかである ×： 著しく低い、または近年大幅に低下する傾向にある					◎	◎	◎	◎
⑤ 借入金割合が適正か	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度				
	借入金割合 (%)	0.0	0.0	0.0				
	<合理的理由>							
◎： 借入金はない、または横ばい、低くなっている ○： 上昇傾向にあるが、合理的理由がある ×： 上昇傾向にあり、適正でない					◎	◎	◎	◎
⑥ 借入金は返済計画どおり着実に返済されているか								
◎： 借入金はない、または借入金当初の返済計画どおり返済が可能 ○： 当初の返済計画の見直しを行った ×： 返済計画の見直しが必要である								

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次 点検		第二次 点検	
		前年	今年	前年	今年
⑦ 将来の法人運営上必要な経費などを適正に積み立てているか（退職給付引当資産、減価償却引当資産、施設建設積立金など）	◎： 適正に積み立てており、不足は生じていない ○： 一定程度積み立てているが、経営上重大な不足は生じていない ×： 積み立てていない、または経営上重大な不足が生じている	—	—	—	—
(イ) 資産運用の適正性					
⑧ 資産の運用に関する規程（管理運用に係る事務手続き、資金運用体制、資金運用に関する方針や運用基準を明確化したもの）を整備し、適正に運用しているか	◎： 規程等にもとづき、適正に運用している ○： 規程等は整備していないが、適正な運用に十分留意している ×： 不十分であり改善の余地がある	◎	◎	◎	◎
(ウ) 財務諸表の適正性					
⑨ 一般に公正妥当と認められる企業会計の基準を適用し、かつ基準に準拠した会計処理がなされているか（退職給付会計の適用、賞与・役員退職慰労引当金等所要の引当計上など）【会社法法人】	◎： 企業会計の基準を適用し、かつ適正な会計処理がなされている ×： 不十分であり改善を要する —： （評価対象外）	—	—	—	—
⑨ 最新の公益法人会計基準（平成20年改正基準）を適用し、かつ基準に準拠した会計処理がなされているか（退職給付会計の適用、賞与・役員退職慰労引当金等所要の引当計上など）【公益法人】	◎： 最新の公益法人会計基準を適用し、かつ適正な会計処理がなされている ×： 不十分であり改善を要する —： （評価対象外）	◎	◎	◎	◎
⑩ 「経理事務精通者による監事への就任」、「経理事務精通者による経理指導・相談体制の構築」、「外部監査制度の導入」により計算書類等の適正化に努めているか	◎： 2つ以上に対応している ○： 1つに対応している ×： いずれにも対応していない	◎	◎	◎	◎

財務の健全性 点検結果計（点検項目：10項目）	◎	8	8	8	8
	○	0	0	0	0
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果				
		第一次 点検		第二次 点検		
		前年	今年	前年	今年	
評価項目	(5) 透明性					
(ア) 情報公開に関する取組						
① 情報公開に関する規程を整備し、かつ公表しているか		◎	◎	◎	◎	
◎： 規程等を整備し、公表している ○： 規程等を整備しているが公表していない ×： 策定（検討）中、又は策定予定なし						
② 事業報告や決算報告等は、自ら積極的に公表しているか		◎	◎	◎	◎	
◎： 関係法令等で定められている以上の項目も公表している ○： 関係法令等で定められている項目のみ公表している ×： 関係法令等で定められている項目の一部のみを公表している						
③ 公表にあたっては、解説や補足説明を付すなどして市民に分かりやすい公表に努めているか		◎	◎	◎	◎	
◎： 十分努めている ○： 十分ではないが、ある程度努めている ×： 取組が不十分である						
④ 公表している事業報告や決算報告等は、法人事務所及び市所管課に備え置くほか、インターネット（HP）も活用して公表しているか		◎	◎	◎	◎	
◎： インターネット（HP）を活用して公表している ○： インターネット（HP）による公表を今期予定している ×： インターネット（HP）による公表を検討中、または予定なし						
⑤ 第三セクターとして市民ニーズに応じた、ディスクロージャー（情報公開）及びアカウンタビリティ（説明責任）に努めているか		◎	◎	◎	◎	
◎： 十分努めている ○： 十分ではないが、ある程度努めている ×： 取組が不十分である						

透明性 点検結果計（点検項目：5項目）	◎	5	5	5	5
	○	0	0	0	0
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等					点検結果				
					第一次 点検		第二次 点検		
					前年	今年	前年	今年	
評価項目	(6) 自立性								
(ア) 経営に対する市の関与									
① 市からの収入（競争によらないもの）割合は上昇傾向になっていないか	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度					
	市からの収入（競争によらないもの）割合（％）	0.0	0.0	0.0					
	<合理的理由>				◎	◎	◎	◎	
	◎：市からの収入（競争によらないもの）はない、または割合は低下傾向にある ○：割合は横ばいである、または割合は上昇傾向にあるが合理的な理由がある ×：割合は上昇傾向にある								
② 自主財源の確保に向けた取組を実施し、かつその成果は向上しているか	点検指標名	R3年度	R4年度	R5年度					
	基本財産運用益（千円）	15,832	19,293	20,880					
	特定資産運用益（千円）	3,776	3,745	3,865					
	<取組事例の主なもの> 資産運用管理規程に基づく、安定した資産運用により、事業費の確保に努めている。				◎	◎	◎	◎	
◎：積極的に取り組んでおり、一定の成果をあげている ○：積極的に取り組んでいるものの、成果にはつながっていない ×：取り組んでいない									
③ 補助金については、対象とする事業の公益性を十分に勘案するとともに、その成果等を的確に評価することにより見直しを図っているか					◎	◎	◎	◎	
	◎：補助金はない、または成果等を的確に評価し、見直しを図っている ×：不十分であり改善を要する								
④ 委託料等については、市として期待する成果をあらかじめ明確にするとともに、額の算定にあたっては、類似民間事業者とも比較・検証し、見直しを図っているか					◎	◎	◎	◎	
	◎：委託料等はない、または毎年度検証し、見直しを図っている ×：不十分であり改善を要する								
⑤ 市職員の派遣については、派遣目的・職務・人数・期間等に関する必要性を明確にするとともに、必要最小限に止めているか					◎	◎	◎	◎	
	◎：市職員の派遣はない、または十分留意し、必要最小限に努めている ×：不十分であり改善を要する								
⑥ 役員の選任については、職務権限や責任にふさわしい人材や、民間の経営ノウハウを有した人材などの登用に努めているか					◎	◎	◎	◎	
	◎：必要に応じて積極的に民間登用に努めている ×：市職員兼務、市職員OBが大半を占めている								
⑦ 市所管課からの指導等や第三セクター経営評価委員会からの提言等について積極的に対応しているか	取組事例の主なもの								
	論文募集や助成事業の内容を検討し、必要に応じ見直しを行っている。				◎	◎	◎	◎	
	◎：十分に対応している ○：十分に対応している項目が多い ×：十分に対応していない								

自立性 点検結果計（点検項目：7項目）	◎	7	7	7	7
	○	0	0	0	0
	×	0	0	0	0